

特定非営利活動法人
日本再生プログラム推進フォーラム



団体概要・活動記録

2016 年 9 月

1. ご挨拶 NSP会員更新と総会ご出席のお願い ～来年度の統一テーマ「次世代への継承」～

みなさん、こんにちは。認定NPO 日本再生プログラム推進フォーラム（NSP）理事長の藤原直哉です。今年度もNSPの活動にご理解をいただき、また積極的にご参加いただきまして、まことにありがとうございます。

今年度も総会が近づいてまいりましたので、活動報告の冊子ともどもご案内をお送りいたします。

今年度（NSPの事業年度は10月から9月まで）はたまり場制度が発足した記念すべき年度になりました。おかげさまで全国でさまざまなたまり場が産まれて、それぞれたくましく活躍しておられます。

さらに7月のNSPフォーラムでは女性のパネラーを多数呼びして、未来へのリーダーシップを語っていただき、多くの方にお聴きいただくことができました。

日本再生も最後は具体的に一人一人が自分たちで考えて行動するということに帰着するわけで、たまり場は自分たちの手で進める日本再生の具体的な形です。

NSPの基本は日本再生に向けた政策の提言です。各たまり場で培った知恵と経験をさまざまな形で政策に生かし、単に政府の政策としてだけでなく、事業者、生活者などあらゆる人達にこれからの時代を明るく元気に生きる道を示していきたいと考えています。

内外情勢を見ても、今年は従来では考えられなかったような体制の変化が目白押しとなり、マクロで見ても極めて大きな歴史の分水嶺に立っていることが明らかになってきました。

特に今年8月8日に放送された天皇陛下のお言葉は大変大きなインパクトをもって各方面に受け取られ、改めて次世代への継承に近いことが明確になりました。皇太子殿下は昭和35年生まれであり、日本はさまざまなところでこれから若い世代への継承が急務になっていきます。

それは日本再生においても同じであり、われわれも来年度は「次世代への継承」を統一テーマとして、良き伝統をいかに次世代へ継承するか、ここまで各方面の方々が積み上げてきた日本再生への具体的な取り組みをいかに次世代へ継承するか、それを一段と考えていきたいと思えます。

具体的に来年度は引き続きたまり場を発展させると同時に、時局に合わせてさまざまな見学会、勉強会などを開催したいと考えておりますが、それに加えて次世代への継承という統一テーマに向けてどんな活動ができるか、これから精力的に考えていきたいと思えます。

そして一人でも多くの方にNSPの会員になっていただき、一緒に活躍していただきたいと考えておりますので、ぜひこの機会に次年度への会員更新と同時に、お知り合いの方をNSPの会員にお誘いください。

どうぞ来年度もよろしくお願いいたします。そしてどうぞこの秋の総会にお越しください。
また皆様にお目にかかれますことを楽しみにしております。

2016年9月吉日

認定NPO 日本再生プログラム推進フォーラム
理事長 藤原直哉 拝

2. NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム団体紹介

<正式名称>

特定非営利活動法人日本再生プログラム推進フォーラム（通称NSP）

<事務所・事務局連絡先>

主たる事務所：東京都墨田区両国3丁目25番5号 J E I 両国ビル3階

事務局連絡先：TEL 03-3633-8631 FAX：03-6866-8614 staff@nipponsaisei.jp

<発足・設立>

平成15年10月16日

<登記>

平成15年10月16日 内閣府認証NPO法人登記（会社法人番号：0210-05-006588）

平成25年11月13日 認定NPO認定通知書の番号「25生都管第2083号」

<役員構成>2016年8月1日現在

理事長	藤原直哉（経済アナリスト、株式会社あえるば 会長）
理 事	榎本恵一（税理士法人恒輝 代表社員）
理 事	鬼澤慎人（株式会社山尾コーポレーション 代表取締役）
理事兼事務局長	永井洋子（永井洋子税理士事務所 所長）
理 事	三上靖彦（株式会社ミカミ 代表取締役）
理 事	山口直彦（フルハシEPO株式会社 代表取締役）
理 事	小川 修（昂テクノロジー株式会社 代表取締役）
理 事	山中茂樹（アクトイット株式会社 代表取締役）
監 事	佐藤茂則（有限会社ミック研究所 所長）
相談役	熊谷 弘（当NPO前理事長）
相談役	高橋栄作（当NPO前事務局長）

<会員情報> 会員総数：451名 2016年8月1日現在

<活動の基本構想>

NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム（通称NSP）では、わが国の経済が「内需中心の持続的経済成長によって」活性化するためには、新しい思想と技術のもとに日本の都市計画を抜本的に作り直し、まったく新しい日本の都市と田舎を作り直すことが必要だと考えています。

そしてその過程で生まれる 21 世紀の新しい技術やノウハウ、製品が国際競争力の源となり、持続的な内需中心の経済成長の根源的エネルギーになると考えています。同時に日本各地固有の産業とライフスタイルを大いに振興させて、あらゆる地域の活力がみなぎらなければならないと考えます。

私たちは、日本の経済を活性化させるために、内需中心に十分に雇用があり、地方の繁栄、高齢化への対処、国際競争力の向上、温暖化問題への対処が同時に達成できるまったく新しい経済の枠組みを創造し、提言することを通じて、日本全体のあらゆる活力を高めるための活動を実践しています。

3. 活動方針

NSPの目指す日本経済の再生をひとことでいえば、「温故知新で生まれる 21 世紀の経済」です。それを実現する戦略をひとことでいえば、「戦略的低エネルギー社会の実現」です。

NSPではかつて、日本経済再生の具体的戦略として観光立国、新しい農業を提案し、実際にそれが政策となって今や日本全国に観光と農業の新しい動きが広がっています。今回は、それらを統合した本格的な提案として日本経済の再生を総合的かつ戦略的に進めていきます。

＜具体的活動方針＞

- (1) 健康で持続可能なライフスタイル(ロハス)を広く浸透させることで戦略的低エネルギー社会を日本で実現し、それを基盤にした 21 世紀の偉大なる共生社会を構築するためのさまざまな研究、実践、政策提言
- (2) そうした新しい日本を創るために必要となる戦略的なポイントを各研究会によって深く掘り下げて研究し、未来を創造するひな型を創る
- (3) 健康で持続的なライフスタイルの構築を目指す人々や諸団体との連携
- (4) こうした成果を広く世の中に啓蒙するための勉強会、講演会、見学会、芸術活動の実施
- (5) インターネット放送を活用して健康と持続可能性の高い生活や仕事をしている人たちを多くインタビューして、相互の連携を強化し、新しい時代を担う人たちを浮かび上がらせる

＜活動内容＞

- (1) 各研究会及び当NPOの主催により勉強会、研究、講演、見学会の実施
- (2) 芸術家との連携による芸術活動
- (3) 農園等を活用した健康で持続可能なライフスタイルの実践活動
- (4) 時局に対応した政策提言活動
- (5) 地方における勉強、啓蒙活動

4. 活動報告

(1) 総会

NSP 第 13 期 総会

日時：2015 年 10 月 18 日(日)

場所：ハロー貸会議室 神保町

(2) 理事会

- | | | |
|--------|---------------------|--------------------------|
| 第 1 回 | 2015 年 10 月 18 日(日) | ハロー貸会議室 神保町 |
| 第 2 回 | 2015 年 11 月 09 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 3 回 | 2015 年 12 月 11 日(月) | 熱海 |
| 第 4 回 | 2016 年 01 月 21 日(木) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 5 回 | 2016 年 02 月 15 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 6 回 | 2016 年 03 月 17 日(木) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 7 回 | 2016 年 04 月 11 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 8 回 | 2016 年 05 月 09 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 9 回 | 2016 年 06 月 13 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 10 回 | 2016 年 07 月 04 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 11 回 | 2016 年 08 月 08 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 12 回 | 2016 年 09 月 12 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |

(3) 正会員集会

この正会員会議は、今期から NSP の活動のメインとなる「たまり場」活動のために、会員相互の交流・情報交換を目的とするものです。正会員の方はどなたでもご参加いただけます。

- | | | |
|-------|---------------------|--------------------------|
| 第 1 回 | 2015 年 11 月 09 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 2 回 | 2016 年 02 月 15 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 3 回 | 2016 年 05 月 09 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |
| 第 4 回 | 2016 年 09 月 12 日(月) | NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室) |

(4) 特別講演会等

激動の日本を再生する途(みち) 2015 年 10 月 18 日(日) ハロー貸会議室 神保町

・講師：NSP 代表理事 藤原直哉



(5) NSP フォーラム2016 2016 年 7 月 2(土) 日本科学未来館 未来館ホール

「新しいリーダーシップのかたち」そして、「マインドフルネス」

・パネリスト：中野裕弓氏・人見ルミ氏・奈美悦子氏・小田恵理氏・中村悦子氏



(6) 時局ならびに日本再生戦略講演会

<第7回 2015 年 9 月 23 日(水・祝) Wesley Center 青山>

- ・藤原直哉の時局講演会 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・日本再生戦略概論 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・企業と家族 そのつながり方 (NSP 監事 中小零細企業研究会 心助っ人隊 佐藤茂則)

<第8回 2015 年 11 月 7 日(土) NATULUCK 日本橋>

- ・藤原直哉の時局講演会 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・日本再生戦略概論 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・持続可能な地域づくりを考えよう～各地の事例をもとに～

(NSP 理事 LOHAS ジャパン研究会 山中茂樹)



＜第9回 2015年12月19(土) ハロー貸会議室神田＞

- ・藤原直哉の時局講演会 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・沖縄はいま、何と戦っているのか (言論法学者 専修大学教授 山田健太氏)
- ・日本再生戦略概論 (NSP 理事長 藤原直哉)



＜第10回 2016年1月23日(土) NATULUCK 日本橋＞

- ・新春特別講演『再起日本！－世界のハイテク技術を拓く－』(株式会社前川製作所顧問 前川正雄氏)
- ・今年の展望と日本再生戦略 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・土地条件と自然災害～何が被害を甚大にしたか～ (NSP 理事 三上靖彦)



＜第11回 2016年2月13日(土) NATULUCK 茅場町新館＞

- ・藤原直哉の時局講演会 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・木材リサイクルとバイオマス発電 (NSP 会員 フルハシEPO株式会社 前田雅之氏)
- ・しがらみを乗り越える環境改善事業 (NSP 理事 昂テクノロジー株式会社 小川修)
- ・パネルディスカッション「新たなビジネス軸としての環境」

(藤原直哉理事長・前田雅之氏・小川修理事)



<第12回 2016年3月19日(土) Wesley Center 青山>

- ・藤原直哉の時局講演 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・誰もが大往生できるために～尊い“いのち”がもたらす地域再生シナリオ～ (医師 東郷清児氏)



<第13回 2016年4月16日(土) Wesley Center 青山>

- ・藤原直哉の時局講演 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・マインドアップリーダー講座「対話を考える～すべての関係に必要な対話力、見直してみませんか～」
(NSP 監事 公認たまり場「人と組織と心研究会」 佐藤茂則)
- ・藤原直哉の日本再生戦略概論 (NSP 理事長 藤原直哉)



<第14回 2016年5月14日(土) Wesley Center 青山>

- ・藤原直哉の時局講演 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・日本再生戦略概論 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・特別講演「2020年 ビジネス&働き方進化論」(一般社団法人ソーシャル・デザイン代表 長沼博之氏)
- ・対談 (長沼博之氏・藤原直哉理事長)



＜第15回 2016年6月19日(日) 墨田総合体育館＞

- ・ 藤原直哉の時局講演 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・ 女性が活躍する社会に期待する (東京東信用金庫地域支援課 坂田静子氏)
- ・ 中小企業の経営資源とハピネス研究会 事例発表
(NSP 会員 ヒューマネコンサルティング(株)代表 阿部重利氏)
- ・ パネルディスカッション「ハピネス企業の道のり」(コーディネーター NSP 理事 榎本恵一)



＜第16回 2016年9月17日(土) NATULUCK 秋葉原駅前会議室＞

- ・ 藤原直哉の時局講演会 (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・ 街を使い倒して街を再生する～その土地の衣食住を満喫しよう～ (NSP 理事 三上靖彦)
- ・ 日本再生戦略概論 (NSP 理事長 藤原直哉)

(7) その他の講演会等

＜講演会＞ 2016年4月17日(日) 山梨県北杜市白州町 (主催 たまり場「新月の五風十雨」)

- ・ これからの農業を形づくるサイエンスとは (高嶋康豪博士)
- ・ この時代の先に見える新しいライフスタイル (NSP 理事長 藤原直哉)
- ・ 対談 (高嶋康豪博士・藤原直哉理事長)



＜ハピネス企業見学会～農業のテーマパーク「サイボクハム」～＞ 2016年9月3日(土)

- ・ サイボクハム説明会・講話拝聴
- ・ 陶芸体験
- ・ サイボクハム施設内案内



(8) ツアー

<明治維新から考える「日本再生」～藤原直哉と共に歩く春の京都ツアー2016～>

2016年4月9日(土)～10日(日)

- ・三条 疎水沿いの京都歩き
- ・平安神宮神苑拝観 霊山歴史館見学
- ・伏見桃山界限 寺田屋跡地などを散策
- ・時局講演会「世界と日本の政治経済の現状について」(NSP 理事長 藤原直哉)



(9) その他の事業

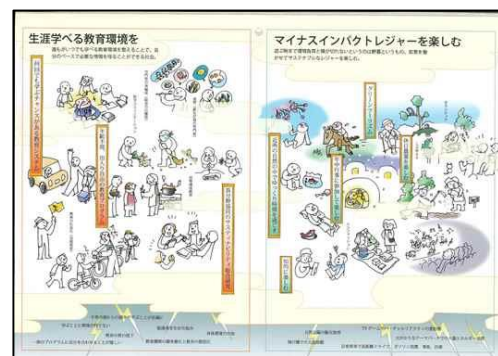
<NSP 防災の日行動委員会>

- ・9月1日、防災の日に、防災食料をきっかけに、私たちのライフスタイルに防災・減災が定着する事を目的とする。
- ・「9月1日 防災の日 食べて、入れ替え、防災食料！」を通して、
 - ①防災の日に向けて、防災食料を備えること、②防災の日に、防災食料を食べて入れ替えること
 - ③防災の日を振り返り、取り組みをシェアすることを、全国各地で広まるよう呼びかける。



<カレンダー販売>

- ・前回大変好評だった絵巻「エコイノベーションで実現するサステナブルなライフスタイル」を、カレンダーにし、販売。



(10) 公認たまり場

NSPでは第13期より、日本再生に向けての戦略的分野の研究が中心であった今までの研究会は終了し、正会員、法人会員あるいは賛助会員が中心となって「たまり場」を立ち上げ、NSPの運営の主体を研究会から「たまり場」に移行しました。「たまり場」ではディスカッション、勉強、研究、発表活動、社会貢献活動、見学、モノづくりなど、自由に活動を展開しています。これによりNSPを、より広く多くの人が参加できる日本再生国民運動の場に育て上げます。

第13期の公認たまり場は、次の9団体です。

- ・人と組織と心研究会：代表者 佐藤茂則 嶋崎剛志（活動エリア：東京近郊）
- ・多摩黒川農園たまり場：代表者 嶋崎剛志（活動エリア・多摩黒川）
- ・SVC (Soho Valley Commons) ソーホーバレーコモンズ：代表者 依田孝吉（活動エリア：東京近郊）
- ・名古屋地域再生研究会：代表者 久志公洋（活動エリア：愛知）
- ・たまり場福岡 横の繋がり：代表者 高橋英治（活動エリア：福岡）
- ・中小企業の経営資源とハピネス研究会：代表者 阿部重利（活動エリア：主に関東）
- ・新月の五風十雨：代表者 向山邦史（活動エリア：山梨）
- ・Empowered Journey 矢部さんと鹽竈とわたしたちと：代表者 樋口敬子（活動エリア：宮城・東北）
- ・ソーシャルデザイン研究会：代表者 山中茂樹（活動エリア：主に東京及び笠間）

<人と組織と心研究会> 代表者 佐藤茂則 嶋崎剛志（活動エリア：東京近郊）

人と組織と心研究会は、メンタルレスキュー、心助っ人隊を経て「人と組織と心研究会」として活動を展開しています。現在の定例研究会は「マインドアップリーダー（人と組織と心相談師）」養成講座として以下のような日程と内容で講座開催しています。

- 【講座概要】
- | | | | |
|-----|----------|-------------|---------------------|
| 第1回 | 2月14日(日) | 14:00～16:30 | 職場開発のステップと職場内環境の整え方 |
| 第2回 | 3月13日(日) | 14:00～16:30 | 管理職のコミュニケーション能力 |
| 第3回 | 4月3日(日) | 14:00～16:30 | 対話力を高める（話す力、聴く力） |
| 第4回 | 5月8日(日) | 14:00～16:30 | ストレス管理のための7つの習慣 |
| 第5回 | 6月12日(日) | 14:00～16:30 | リーダーシップを考える |
| 第6回 | 7月10日(日) | 14:00～16:30 | 性格の見直し、自己理解を深める |
| 第7回 | 8月7日(日) | 14:00～16:30 | 心身一如と健康法 |
| 第8回 | 9月11日(日) | 14:00～16:30 | ハラスメントのないイキイキ職場づくり |

上記講座を単位制として他の研究会や理事長の時局講演会等への参加を加えてマインドアップリーダー」を認証しています。マインドアップ養成講座は、人と組織における応急的に相談対応できることをねらいとして講座開催していますが、次年度以降は①相談窓口の設置、②定例の研究会の開催と情報発信を行う方向で考えています。会員の皆様のお声をお聞かせください。

<多摩黒川農園たまり場> 代表者 嶋崎剛志（活動エリア・多摩黒川）

みなさん、こんにちは！公認たまり場2号の多摩黒川農園です。相変わらず、農園で楽しくワイワイやっています。2012年10月から始めた多摩黒川農園でのそら豆栽培も4作目（あしかけ5年）が終わり、農業必須アイテムも相当充実してきました。

また、去年の夏は360坪に拡大した畑で雑草と熱中症に負けましたが、今年は勝利目前です！去年の敗因は、刈った草がすぐに復活し、刈っても刈ってもキリがなかったことです。そこで、一旦刈った場所は2度と刈らなくて良いように、防草シートを貼ることにしました。これで一気に問題解決となりました！栽培する作物についても、だいぶ特徴が出てきました。Keywordは、無農薬・無化学肥料でも「すくすく育つ」、「虫がつきにくい」、「病気になるにくい」、「長期間保存できる」、そして、もちろん、「美味しい！」です。具体的には、そら豆、唐辛子、枝豆、大根、ブロッコリー、里芋、長ネギです。そら豆と唐辛子で豆板醤（これは来季から）、大根と唐辛子でたくあん、里芋・長ネギ・唐辛子で芋煮会、ブロッコリーの脇芽でアヒージョ！！となります。もちろん、ナス、ピーマン、ししとう、オクラなどの夏野菜も栽培し、畑で天ぷらを揚げて楽しんでいます。

会員も着々と増えています。ビジター参加の方も、ほぼ100%、正会員になってくれます。まだ、行ってみたいけど迷っている方、ぜひ一度お越しください。美味しい野菜、楽しい仲間、心安らぐ空間を準備してお待ちしております！！

＜SVC (Soho Valley Commons) ソーホーバレーコモンズ＞代表者 依田孝吉（活動エリア：東京近郊）

「ソーホーバレーコモンズ」は、地元を愛する人々の共感から生まれた街づくり構想です。時が築き上げてきた大切な歴史を受け継ぎながら、さらにもっと快適な「私たちの街」を創り出そう。自分たちの街を、自分たちの手で…。こうした心が集まりふくらんだつぼみがSVCのコモンズ構想です。

1999年10月に第1回定例会を開催し、その後は、毎月第三水曜日18:30～21:00に開催しています。経済アナリストの藤原直哉さんによる政治、経済など、最新時局のお話。新規事業コンサルタントの高島健一さんによる最新ビジネス、最新オープン店のお話。

「やまごころ」勉強会では、日本人の心のふるさとである神社を体感、参拝しています。主な参拝地は、伊勢の神宮（外宮、内宮）、猿田彦神社、出雲大社、身曾岐神社、石上神宮、大神神社、天河大弁天社、榎原神宮、秩父神社、三峰神社、諏訪大社（本宮、前宮、春宮、秋宮）、息栖神社、鹿島神宮、香取神宮、東京大神宮、神田明神、湯島天神、筑波山神社、星宮神社、熊野速玉大社、神倉神社、玉置神社、熊野本宮大社、熊野那智大社、戸隠神社（奥社、九頭龍社、中社、火之御子社、宝光社）、飯縄神社、不二阿祖山太神宮、北東本宮小室浅間神社（旧社祠）

今後とも毎月第三水曜日18:30～21:00に定例会を予定しています。「やまごころ」勉強会も不定期ですが年に3回程開催予定です。

（活動状況等の分かる資料：Facebook ページ <https://www.facebook.com/nsp.svc>）

＜名古屋地域再生研究会＞ 代表者 久志公洋（活動エリア：愛知）

名古屋地域再生研究会は、現在 ①名古屋農楽倶楽部 ②名古屋のたまり場 ③個の花倶楽部の3つを主な柱として活動しております。

①名古屋農楽倶楽部は、2011年の大震災を機械に、自分たちでも食料を生産することを学びながら、安心安全な食べ物を作っていこうという志の元、田んぼ約3反、畑約0.5反を愛知県犬山に借りて、米と野菜の生産を試みているものです。近年では、小さな子どもたちの参加も増え、都会ではなかなか出来なくなった、農業体験もしていただいております。

②名古屋のたまり場は、毎月20日過ぎの水曜か木曜日の夜に名古屋駅近くで行っている、情報交流会です。世の中の情勢やみんなで取り組んでいる田んぼや畑のことを肴に、お酒を飲みながら話が弾みます。異業種間の交流も盛んです。

③個の花倶楽部は、1年に4回ほど、名古屋に藤原直哉先生がいらっしゃる時の午前中に、有志による勉強会を開催させていただいております。地域再生研究会の活動に対するアドバイスもいただきながら、国内外の情勢、世の中の動きなど勉強させていただいております。

今後の主な活動予定です（基本的に毎月名古屋のたまり場は開催されます）。

・10月22日（土）収穫（稲刈り・はぎ掛け）7:00～16:00

土曜日は農楽倶楽部メンバーを中心にバインダー（稲刈り機）で刈り取り、はぎ掛け。

・10月23日（日）【一般参加者募集】 収穫（稲刈り・はぎ掛け）9:00～15:00

日曜日は一般の方、子供さんも参加して手刈りによる稲刈りを行い、はぎ掛けを行います。

・11月5日（土）脱穀・粃すり 7:00～16:00

約2週間天日に干したお米を脱穀していきます。脱穀した粃は粃摺り機で玄米にします。脱穀や粃すりの様子も見学・体験したい方はこの日に参加して下さい。

・11月6日（日）【一般参加者募集】 脱穀・収穫祭 9:00～

畑の横の広場で穫れたての新米を漆喰竈で炊いてみんなでいただきます。

・12月～3月 田おこし（微生物を使った土づくり）

＜たまり場福岡 横の繋がり＞ 代表者 高橋英治（活動エリア：福岡）

活動目的と活動概要は、①ロハスな活動をしている個人・企業・組織への訪問、紹介、連携を通し地域の活性化と連帯を図る。②御用達経済の促進。③横型リーダーシップの研究・実践をし、地域の横のネットワークを築く。④福岡藤原塾のお世話。

活動内容と活動履歴は以下の通りです。

平成27年12月11日 当日の理事会での認定たまり場の承認を祝い発会式を開催

平成28年1月16日・17日 リーダーシップ研修in福岡のお世話（第1回目）

平成28年2月5日 福岡藤原塾のお世話 高松のメンバー来福にて合同ミーティング

平成28年2月6日・7日	リーダーシップ研修 in 福岡のお世話（第2回目）
平成28年3月12日	「ピザと味噌鍋を囲んで語る会」をロハス梅林にて開催
平成28年3月21日	久留米市にある榑藤成卿のお墓参りと榑藤家訪問
平成28年4月16日	勉強・研究部会で「バブル」をテーマに勉強会（第1回目）
平成28年5月 6日	福岡藤原塾のお世話
平成28年5月 7日	藤原理事長と久留米の榑藤成卿のお墓参りと榑藤家を訪問
平成28年5月14日	勉強・研究部会で「バブル」をテーマに勉強会（第2回目）
平成28年6月11日	福津市の歴史巡りを開催
平成28年7月 2日	たまり場メンバーの御用達企業訪問を実施
平成28年8月 5日	福岡藤原塾のお世話
平成28年8月6日・7日	佐賀県三ツ瀬村にて合宿
今後の予定	
平成28年9月以降	研究・勉強部会「新たな世直しの施策」の提案、「歴史」の研究

＜中小企業の経営資源とハピネス研究会＞ 代表者 阿部重利（活動エリア：主に関東）

代表的な経営資源「ヒト・モノ・カネ・情報」等に対し、中小企業がどんな課題・問題に對峙しているか、その克服策・解決策を、座学や取材を通して探っていきます。従前の「中小零細企業研究会」の目的を引き継ぎ、新たにその経営資源について多角的に研究をすすめ、中小企業の発展ひいては日本再生の一端を担います。将来的には中小企業「省」の設立等、ステークホルダー の”ハピネス”を夢見て、志し高く、そして時にはワイガヤと情報交換・発信に努めてまいります。

○経営資源の

- ・ヒト⇒国が「働き方改革」などと言うずっと前から研究を続けている「ワークライフバランスを超えたワークライフハピネス」の追求で、イキイキ社員10倍増計画を進めます。
- ・モノ⇒ものづくり補助金の獲得なども含めた、補助金・助成金の研究も進めます。
- ・カネ⇒マイナス金利下における、中小企業金融の研究やハイパーインフレやスタグフレーションを見越した資産防衛についても考えていきます。

○2016年6月19日（日）ハピネス企業の道のり第15回日本再生戦略講演会ー

日本再生の総合戦略について藤原理事長より時事の動きと再生戦略を照らし合わせながら、特別講師として元墨田区役所職員（現東京東信用金庫職員）の坂田静子さんより「女性が活躍する中小零細企業の職場づくりや実体験」を講義頂き、参加者同士での検討会を行いました。

○2016年9月3日（日）企業見学会～農業のテーマパーク「サイボクハム」見学会～

埼玉県日高市のハピネス企業【サイボクハム】を訪問することに致しました。サイボクハムの社造は、①豊かな「楽農文化」の創造、②美味しい「食文化」の創造、③楽しい「生活文化」の創造です。また、農業は知的生産の先進産業であり、新しい「アグリビジネス」というドラマを演ずる生活産業として、農業＝「脳業」だと考えています。経営スローガンは、①緑の牧場から食卓まで、農村は民族の苗代、②農業の完全一貫経営（有機肥料・無農薬）、③農本立国、農は国の元なりです。ここには、年間400万人が訪れる本物の食と健康のテーマパークがあります。また本社には、ハムソーセージ工場、レストランサイボク、温泉施設まきばの湯、地元農産物直売所、パークゴルフ場などが併設され、敷地面積3万坪の土地は、まさに農業のテーマパークとも言えるところでした。中小企業経営の極意とハピネスを学びました。

＜新月の五風十雨＞ 代表者 向山邦史（活動エリア：山梨）

28年3月9日の新月の日には一回目がスタートし、毎月実行中です。

会の名前の毎月巡ってくる新月は、その月のはじめの日、朔の日、月は見えない暗闇の夜で、白州町の素晴らしい星空が、より輝きわたります。

寒い時はあたたかログハウスの中で、夏場の夜はたき火の灯りの中、天の川、降るような星空のもとで行われます。

五風十雨とは熟語辞典にはどれでも載っていますが、五日に一度風が吹く、十日に一度雨が降る、気候が穏やかで順調なこと、世の中が平穏無事であることの意です。

基本的に夕方5時から、農場で完全無農薬、化学肥料無しで育てたもち米で餅つきから始まり、6

時からその月のメインスピーカーがお話をし皆で聞き、8 時前からは食事、いろんなお酒も飲みながら夜遅くまで歓談し、全員が五風十雨農場に宿泊、翌日午前中はワークショップなどをし解散するというのが基本スタイルです。

全体を流れるテーマは、健康で持続可能なLOHASな生活をどう実現するかです。

ロシアにはダーチャという家族ぐるみで週末には小屋に行き、無農薬で菜園を育て自分の食べるものは自分がつくる、自給自足の基本が実行されています。

五風十雨農場でも 8 月中には 2 棟のダーチャ小屋が完成、試行錯誤が始まります。

防災や、社会的に何もかもが激変してゆく世相の中で安全、安心なライフスタイルの提案につながってゆければと思います。

今みんなで話し合っているのは、強権的、好戦的な政治や、安全な食べ物もなく、医療が人を殺す、教育もとても心配・・・などなどの国民の幸せを考えないこの国からみんなで一緒に独立してゆこう、その国がネットワーク化することで、根っこからこのおかしい国を変えてゆこうという話です。

身近なことから宇宙大の話までいつも盛り上がっています。

＜Empowered Journey 矢部さんと鹽竈とわたしたちと＞代表者 樋口敬子（活動エリア：宮城・東北）

皆さま、はじめまして。このたび、NSP 公認たまり場第 8 号に承認していただきました

＜Empowered Journey 矢部さんと鹽竈とわたしたちと＞です。

私たちの主な活動拠点は、宮城県鹽竈市（しおがま）です。東日本大震災・福島原発事故の大災害を風化させないため、未来を創るため、2011 年（平成 23 年）9 月より、年 1 回春夏秋冬の宮城を訪れています。自分たちらしく東日本大震災と丁寧に向き合う 48 時間を毎年宮城で過ごし、たまり場参加メンバーが各々の地域に戻り、「いつか、そのうち」ではなく、「今から」できることとして日々の生活で参考となるさまざまなヒントや勇気を得る、共有する機会でもあります。

これまでの活動記録は、こちらの URL よりご覧ください：

<https://medium.com/weareherewithyabesan>

（2011 年秋、2012 年春、2013 年冬、2014 年秋、2015 年秋、2016 年夏）

地震が起きた、津波が押し寄せた現場は、各地で復旧復興の動きがさまざまです。それぞれのこれまでと今、そしてこれからの状況を自分たちの足で歩き、目で観て、地元の方々の生の声を聴いて、復興の息吹を心から体感する旅をご一緒しませんか。お待ちしております。

＜ソーシャルデザイン研究会＞ 代表者 山中茂樹（活動エリア：主に東京及び笠間）

ソーシャルデザイン研究会は、旧 LOHAS ジャパン研究会をベースに、自分たちが楽しく・ココロオドル活動を通して、持続可能な社会の実現を目指し地域・日本そして世界が抱える社会的課題の解決につながり、新たな価値を創造するモノづくりや仕組みづくりの雛形を実践し、共有するたまり場です。誰もが社会を変革する可能性を秘めていることを実感でき、そして実践できるコミュニティを目指します。

[活動概要]

- ・最新の世界の IT 技術動向(IoT やシェアリングエコノミー等)の勉強会・実践会
- ・新しい科学技術(発酵技術の応用やいわゆるフリーエネルギー等)の勉強会・実践会
- ・地域のさまざまな取り組みの視察及び見学会
- ・全国各地の持続可能な社会を目指す様々な取り組み（成功事例、試み、種）を集め、発信、そしてその成功要因や課題などの検証

[今後の活動予定]

- ・月に一回程度の勉強会
- ・メンバーの茨城県笠間市の農園や場所を活用しての勉強会・実践会

(11) ソーシャルメディア部

世界各地、全国各地の会員さんとココにつながりながら活動をしていくために、NSP ではさまざまソーシャルメディアをツールとして活用し、定期的に情報公開・活動記録・交流の場を発信しております。

また、NSP News として、藤原理事長が厳選したキーワードに関連するニュースをメールでお届けするサービスをリリース予定です。

<NSP ホームページ> <https://nipponsaisei.jp/>

<Facebook> <https://www.facebook.com/nipponsaisei>

<twitter> [nipponsaisei](https://twitter.com/nipponsaisei)

<NSP ブログ> <http://blog.nipponsaisei.jp/>

<Vimeo> <http://vimeo.com/nipponsaisei>

<日本再生チャンネル> <https://www.youtube.com/channel/UC82kFFH324UH2IbMXcqgQWg>



5. その他

<会員募集中！>

皆様の周りに私たちの活動にご賛同頂ける方はいらっしゃいませんか？
NSP ではご賛同頂ける会員さんを募集しています。

私の手で日本を再生したい！

たまり場を作りたい！

みんなとワイガヤしたい！ などなど熱い想いをお持ちの方は是非！

- (1) 個人正会員 (10,000円)
- (2) 個人賛助会員 (5,000円)
- (3) 法人正会員 (20,000円)
- (4) 法人賛助会員 (7,000円)

正会員は議決権がございますが、賛助会員には議決権はございません。予めご了承ください。
お申込みの際には同封の会員申込書をご利用下さい。

＜ご寄付のお願い＞

日本再生プログラム推進フォーラムをご支援ください。

皆様の一人ひとりのお力添えが必要です！

日本再生プログラム推進フォーラムでは、公認たまり場の活動、定期開催している再生戦略講演会、見学会、事務局の運営等々、様々な活動を行っています。そして活動の原資は会員の皆様の会費や寄付金によって賄っています。したがって当団体は皆さまからのご支援なしでは活動を続けることができません。私たちの活動を是非応援して下さい。

日本再生プログラム推進フォーラムへのご寄付は、認定 NPO 法人への寄付となり税制優遇（寄付控除）が受けられます。✖

○郵便振替

振替口座：00280-3-070910

他金融機関からの振込用口座：○二九 店（029）当座 0070910

口座名：特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

○銀行振込

三井住友銀行 日比谷支店 普通 8109166

口座名：特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

※個人が認定・仮認定 NPO 法人に寄附した場合

個人が認定・仮認定 NPO 法人(以下、認定 NPO 法人等)に対し、その認定 NPO 法人等の行う特定非営利活動に係る事業に関連する寄附をした場合には、所得控除又は税額控除のいずれかを選択適用できます。また、都道府県又は市区町村が条例で指定した認定 NPO 法人等に個人が寄附した場合、個人住民税(地方税)の計算において、寄附金税額控除が適用されます。

・具体的には？

個人が認定 NPO 法人等に寄附をすると、所得税(国税)の計算において、寄附金控除(所得控除)又は税額控除のいずれかを選択して確定申告を行うことにより、所得税の控除を受けることができます。

・所得控除

その年中に支出した寄附金の額の合計額から 2 千円を控除した金額を、その年分の総所得金額から控除できます。

※法人が認定・仮認定 NPO 法人に寄附した場合

法人が認定 NPO 法人等に対し、その認定 NPO 法人等の行う特定非営利活動に係る事業に関連する寄附をした場合は、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特定公益増進法人に対する寄附金の額と合わせて、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

なお、寄附金の額の合計額が特別損金算入限度額を超える場合には、その超える部分の金額は一般寄附金の額と合わせて、一般寄附金の損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

・具体的には？

特別損金算入限度額の適用について 法人が認定 NPO 法人等に寄附をすると、一般の NPO 法人に寄附した場合の一般損金算入限度額とは別に、別枠の特別損金算入限度額が設けられており、その範囲内であれば損金の額に算入することが認められます。

(内閣府 NPO ホームページより)



<お問い合わせ・連絡先>

NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム (NSP)

〒130-0026 東京都墨田区両国 3-25-5 JEI 両国ビル 3 階

TEL:03-3633-8631 FAX: 03-6866-8614 E-mail:staff@nipponsaisei.jp